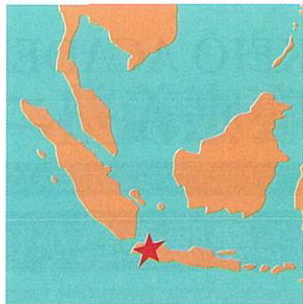


花の町バンドン

本校があるバンドンは、人口約二二〇万人の西ジャワ州州都である。赤道よりわず



か南、インドネシアの首都ジャカルタから南東に約一四〇キロのところの位置している。標高約八〇〇メートル、周囲を山に囲ま

●インドネシア● **バンドン 日本人学校**



歴史にその名を刻むバンドン会議（アジア・アフリカ会議）の会議場は博物館となっている



校舎全景

れた高原地帯にあるため、熱帯のインドネシアの中では比較的過ごしやすい。一年中花が咲き乱れ、緑と太陽の光に包まれた美しい町である。歴史的には、オランダの植民地時代に避暑地として開発され、以来インドネシアの第三あるいは第四の都市として発展してきた。また、この地は戦前から多くの日本人が活躍した由緒ある町でもある。

現地の教育環境について

バンドンは、かつてのバジャジャラン王国に代表されるスワンタ人の町として発展してきた。現在は、バンドン工科大学、バジャヤラン大学、インドネシア教育大学とインドネシアを代表する大学がそろった学園都市となっている。日本語に関心の高い学生が多く、日本語学科を有する大学も多い。

都市部は人口密度が高く、街のあちこちに幼稚園から高等学校が点在し、どこを歩いても子どもたちの声が満ちあふれている。日常生活言語は、スンダ語とインドネシア



小学部5・6年 インドネシア語の授業

本校の特色

語を用い、教育言語はインドネシア語となっている。

本校は一九七七年三月、バンドンジャバングクラブにより補習授業校として設立された。

その後、八四年四月に日本人学校として小学部が認可され、さらに八六年三月に中学部が認可された。二〇〇四年には開校二十周年を迎え、ドリアンが実る校庭には記念樹のヤシが植えられ、いま、その下で子どもたちが元気に駆け回っている。

現在、幼稚園から中学部まで総勢二十四人の山の上の小さな学校である。充実した指導体制の中で、少人数対応のきめ細かい教育が行われている。涼しい高原の優れた



トカゲ



ガムラン演奏



現地校交流 剣道を体験

小学部1・2年 現地校交流(生活科)

**Bandung Japanese School**

URL <http://bandung40142.web.fc2.com>

児童生徒数 幼=5人 小=15人 中=4人

**子どもたちから**

みんなでひる休みにかんけいりやだるきさんがころんだをしたのはそびます。(小2)

全校のみんなをいっしょにお弁当を食べることができて楽しい学校です。(小6)

幼稚園から遊んで楽しく仲良く外で遊べる。みんなの仲がよくなっている。家族のような学校です。(中3)

学習環境の中で子どもたちは楽しく充実した日々を過ごしている。

本校では、さまざまな学校行事を通して国際交流活動を行っている。たとえば運動会では現地校の小学校の子どもたちと競技演技を行い、楽しいひとときを過ごしている。そのほか遊びや学習を通しての交流もはかっている。ことばの壁を乗り越えた交流活動には、目を見張るものがある。地域のこととは地域でと言われるように、地域に参画することで、自然な形で地域性をはぐくませていきたいと考えている。なお本校ではジャカルタ日本人学校との交流もはかっている。

現地理解という観点からは、積極的にインドネシア語を取り入れ、インドネシア語会話を小学部三年から中学部三年に週一時間行っている。同様に、英会話も小学部一

年から位置づけ、国際性豊かなコミュニケーション能力を持つ児童生徒の育成に努めている。

保護者からは厚い信頼を受けて学校運営が行われているが、児童生徒の減少や企業等の引き上げ等によって学校経営の状況には厳しいものがある。そんななか、今日も子どもたちはドリアンやヤシの下で元気に遊んでいる。

(二〇〇九年七月現在)



みんなで昼食(左は収穫した学校のバナナ)